



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 星 行夫
幹事 吉野 彰芳
SAA 佐藤 政司
会報小委員長 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

2022 - 23 年国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

第 2915 回 例会 令和 4 年 10 月 19 日 (水・晴)

ゲスト

株式会社 ハイフォレスト
代表取締役 高林 大輔 様

ロータリーソング 我等の生業

— 今月は経済と地域社会の
発展月間です —
4 つのテスト、例会出席心得
木村義英会員



◎会長挨拶—星 行夫会長

こんにちは。いわき市のコロナ感染者が少なくなったことに伴い、今週から席次についてはもとに戻します。しかし、市中では思ったより感染者が減らないので、気を緩めないようにしたいと思います。先週の例会でお話しました委員長・小委員長の集まりの件ですが、まだ出欠を出していない方は早急に返答をお願いいたします。10/28 に開催を予定していますので忘れないようお願いいたします。また、最近コロナのために参加していなかった猪苗代湖の水草除去作業ですが、今年は 10/30 に参加いたします。参加される方はご準備等を宜しくお願いいたします。さて、10/24 は世界ポリオデーです。分区の活動としては 10/23 に平中央ロータリークラブが「学園祭ジャック」を行うとの連絡が入っています。東日本国際大学学園祭でポリオ撲滅の啓蒙活動と募金活動を行う予定になっています。学園祭に行く予定がありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。最後にお客様のご紹介をいたします。本日は外部卓話者として、株式会社ハイフォレスト代表取締役の高林大輔様をお迎えしております。木材の機能・効能を活用した、木育について貴重なお話が伺えると思います。高林様、後ほど卓話を宜しくお願いいたします。以上簡単ですが、挨拶といたします。

◎幹事報告—吉野彰芳幹事

- ・国際ロータリー事務局より 2025 - 26 年度ガバナー補佐者確定の報告が届いています。
- ・いわき平中央ロータリークラブより 10 月のプログラムと週報が届いています。

- ・いわき平ロータリークラブより週報が届いています。
- ・2021 - 22 国際ロータリー事務所より決算書の案が届いています。
- ・先週お配りしたアンケートを次の例会までに回収したいと思いますので宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会—湯日 浩小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会—小澤啓一会員

- ・(株)ハイフォレスト代表取締役 高林大輔様の外部卓話を歓迎して。星会長、林副会長、斉藤会長エレクト、吉野(彰)幹事、鈴木(敏)副幹事、鈴木、佐藤(政)、嵐、高萩、木幡、木村(義)、高野、吉野(嘉)、渡邊公平パストガバナー、鈴木(修)、湯日、高橋、小澤、根本各会員

・本日早退ごめんないさい。

鈴木(雅)、清水、金成各会員

◎社会奉仕・環境保全委員会

—小澤啓一小委員長



社会奉仕と環境保全両委員会で猪苗代湖の水草除去を今年はいきたいと思います。10月30日に参加を呼び掛けました所13名がご参加いただけることになりました。日程は8時に植田を出て10時から開会式があり、各自回収除去の予定です。その後アサヒビール園で昼食をとる予定です。天候により中止の場合は私へボランティア事務局から連絡が入る予定です。

◎新入会員挨拶



ひまわり信用金庫 植田支店
支店長 高橋 正也 様
皆さん、こんにちは。10月からひまわり信用金庫植田支店に着任致しました高橋正也と申します。前任は勿来支店です。この度、ロータリークラブの会員として入会させていただくことになりました。柴山の後任になります。今後共宜しく願います。

◎ゲスト卓話者紹介—吉野彰芳幹事

本日のゲスト卓話者の高林大輔さんをご紹介致します。1982年生まれで40歳です。勿来町出身で磐城高校卒業後、神奈川大学経営学部国際経営学科を卒業されました。株式会社田村建材に就職後、祖父の代から続く(有)高林木材店へ転職されました。福島県木材青壮年協会に加入し、平成29年度会長を務め現在は理事及び木育委員長を務めておられます。3年前に木製玩具 IKONIH (アイコニー) の東北唯一の総代理店として販売をスタート、同時に別会社として(株)ハイフォレストを立ち上げ木のおもちゃを通じて木の良さ、重要性、木育の普及活動を行っておられます。また、いろいろご本人と話をした結果勿来ロータリークラブに入会していただくことも決まりました。宜しくお願いします。

◎ゲスト卓話



株式会社 ハイフォレスト
代表取締役 高林 大輔 様

只今、ご紹介をいただきました株式会社ハイフォレストの高林大輔と申します。本日は宜しくお願いします。まず、皆さんは木育という言葉をご存知でしょうか。日本木育の話をするにあたり、私が扱っているおもちゃの商材がありますのでその辺の資料もご用意致しました。木育という言葉は北海道で生まれた言葉です。教育の面で木育という言葉が使われるようになりました。日本の国土の70パーセントが森林です。日本だけではなくいわき市も7割が森林と言われています。

IKONIH が日本産の檜にこだわる理由

「適切に森林を管理し、木材を無駄なく利用すると、IKONIH を通じ実現を目指すこと」は森林環境保全の一助となり次世代の子ども達に健全な森林を受け継げるのではないかと考えています。

檜を伐採できるのは日本だけ

檜は、1991年、台湾での伐採が禁止され、現在日本でしか生産・伐採できません。耐久性や保存性に優れた檜を世界に伝えていきたいと考えています。

檜は植樹後、約50年頃が伐採適齢期

日本に生えている檜の多くは、戦後造林計画で植林されたものです。檜は50~60年が伐採適齢期であり、今まさに、伐採期を迎えています。

高い消臭効果

生ごみ、トイレの臭いなどの悪臭や、体臭を消臭、清らかな空間をつくることでできます。シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドを吸着し消臭します。

高い抗菌効果

ダニやシロアリなどの害虫の動きを止める効果があります。また、日常の至る所に潜む菌やウイルスの除去をする効果があります。

森林浴効果

檜の香りには気分転換やリフレッシュなどに効果があり疲れた心に元気を与えます。

日本の山林事情については、日本の森林のおよそ40%を占める「人工材」。戦後の拡大造林計画によって大規模な植林が行われ、成長が早く、加工しやすい「杉」や「檜」などが植林されました。しかし、林業従事者の人手不足により計画的な手入れが行き届かず、木々は弱り、様々な被害を巻き起こす要因となっています。木育は、2004年に北海道で生まれたことばです。その後、2006年に「森林・林業基本計画」の中で閣議決定されたことばでもあります。いろいろな使われ方をする木育ですが、私たちは、「木育」を「木と自分たちの暮らしを理解し、サステナブルな暮らしづくりへ貢献する活動」と考えました。IKONIH を永く使い、修理することでものを大切につかう経験を積むことができます。また、おもちゃ生産の背景にある日本の山林の事情を知ること、自分たちの暮らしと自然が繋がっていると理解することもできます。子どもたちが大きくなったとき、次世代の子どもたちにもこの経験や学びが受け継がれることもあるでしょう。木に触れ、木で育つ。この連鎖が、未来の子どもたちの暮らしを創っていくと考えています。



出席状況	正会員数	36名	カード出席	0名
	本日出席会員数	25名	本日の修正出席率	71.43%